

治らない不調の奥にある、もう一つの自然法則

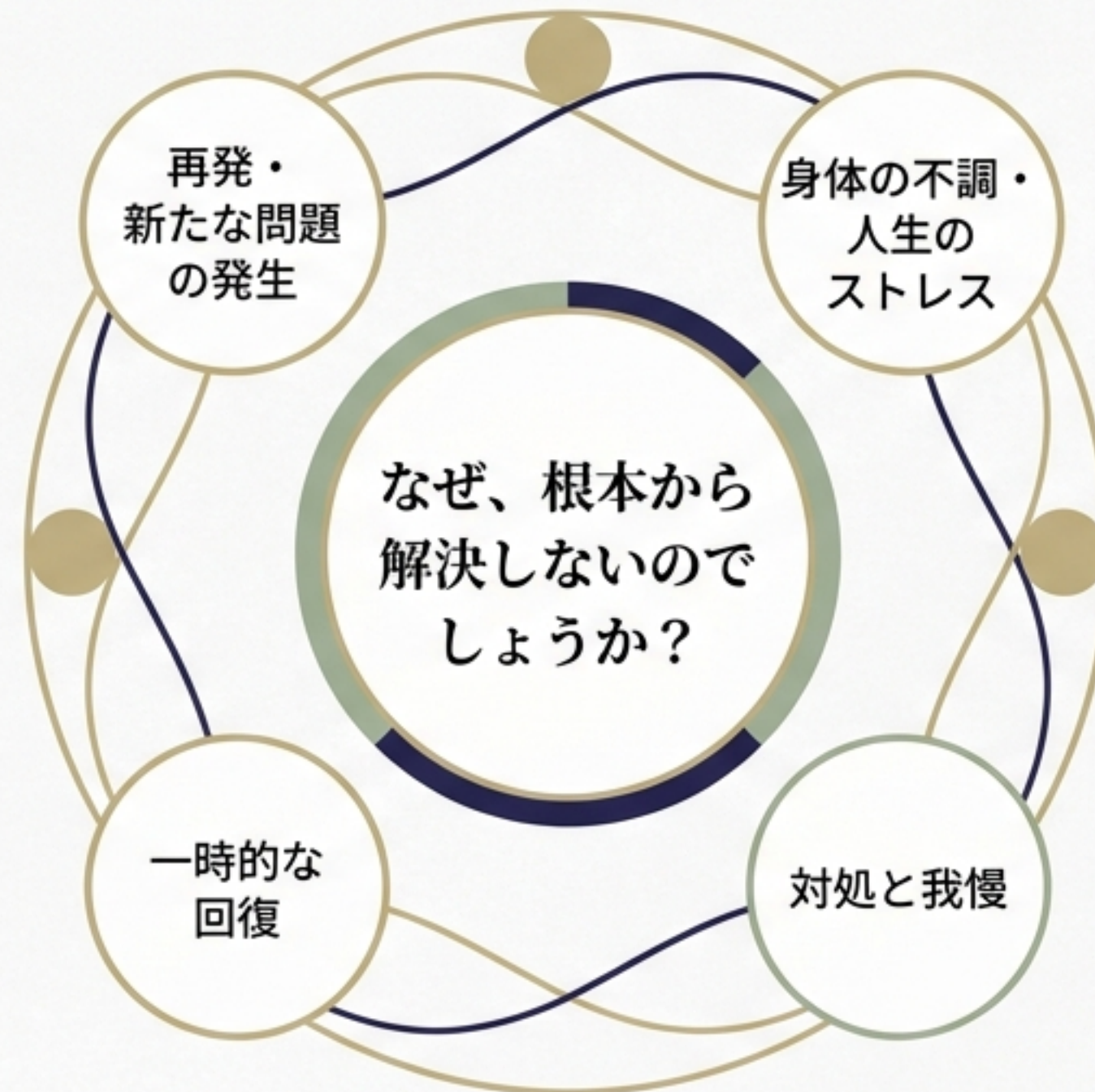
心と身体の緊張を解き放つ「内なる鏡」の気づき



接骨院くらが提案する、真の根本療法

何度治療しても繰り返す「痛み」や「疲れ」の正体

私たちは日々、身体の痛みや心のストレスに対処しています。
しかし、どれだけ努力しても同じような問題が繰り返されることはありませんか？



治癒の冰山モデル：見える世界と見えない世界

自然界には、絶対に逆らえない2つの法則が狂いなく働いています。

形而下の科学 (Visible Science)

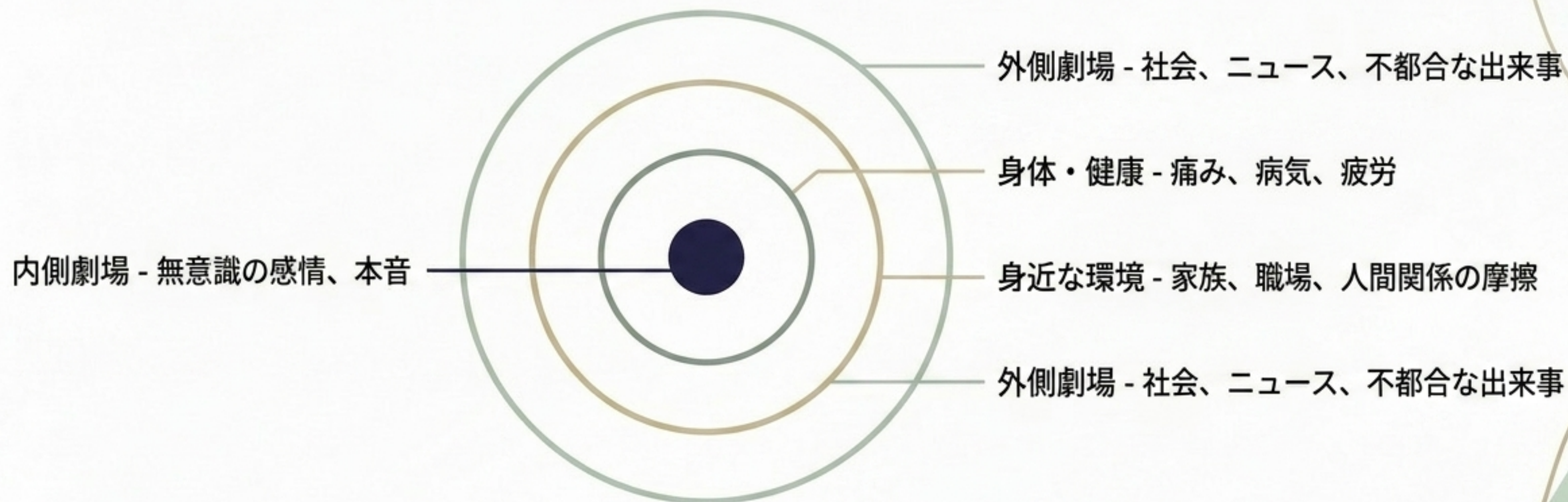
- 特徴: 目に見える、触れられる、数字で表せる
- 現れ方: 筋肉の緊張、骨格の歪み、痛み、病気
- アプローチ: 接骨院くらでの物理的な施術やケア

形而上の科学 (Invisible Science)

- 特徴: 目に見えない、触れられないが、確実に機能している自然の仕組み
- 現れ方: 無意識の我慢、感情の抑圧、自己否定
- アプローチ: 「自分の内側」の法則を理解し、心身の調和を取り戻す

360°合わせ鏡の法則：外側劇場 = 内側劇場

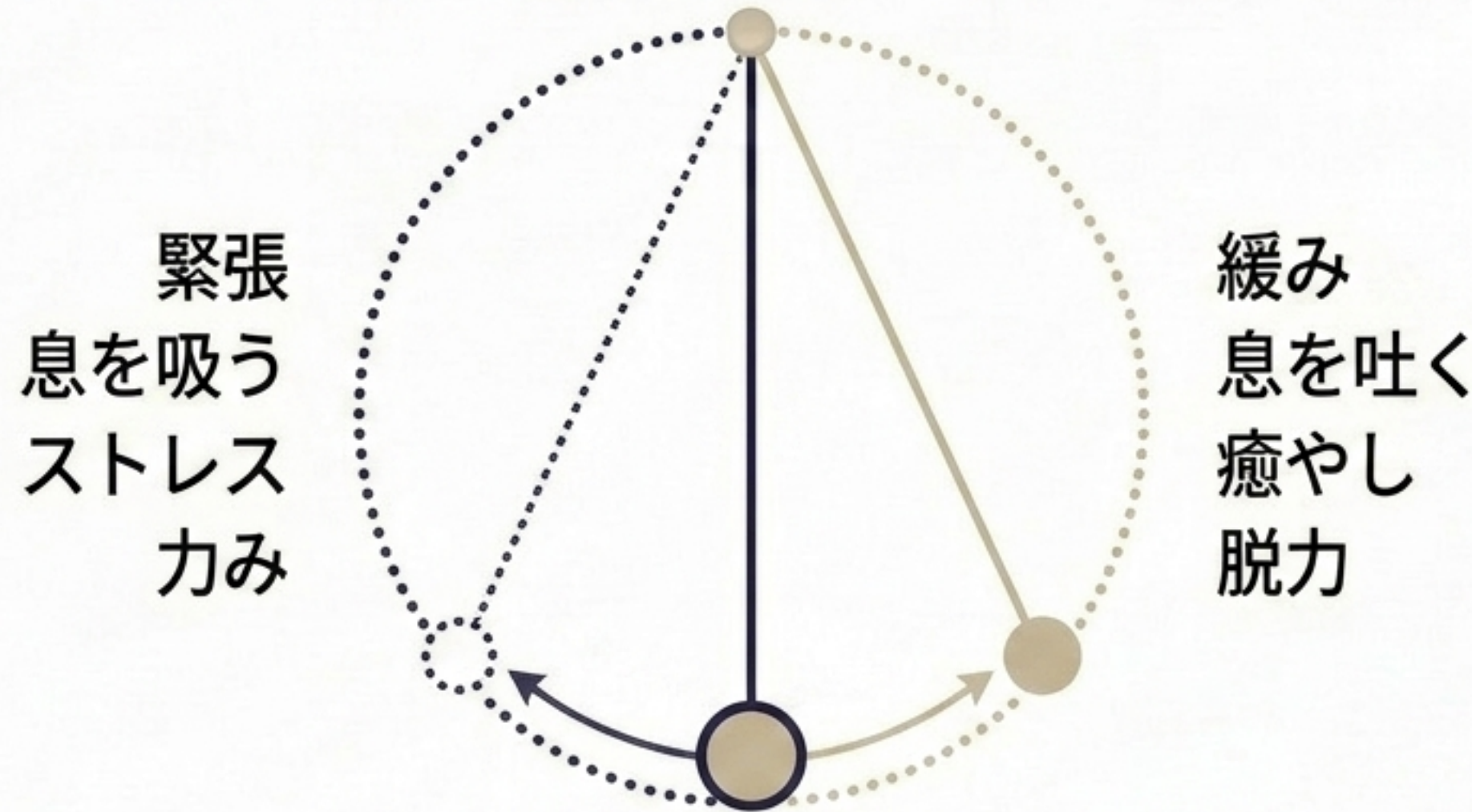
あなたの周りで起こる出来事や身体症状は、すべて「無意識の自分」を映し出す鏡です。



目の前の不都合なこと（痛み、トラブル、怒り）は、
すべて「自分の内側が不自然な状態である」ことを
知らせるシグナルに過ぎません。

表裏一体：緊張と緩みの振り子

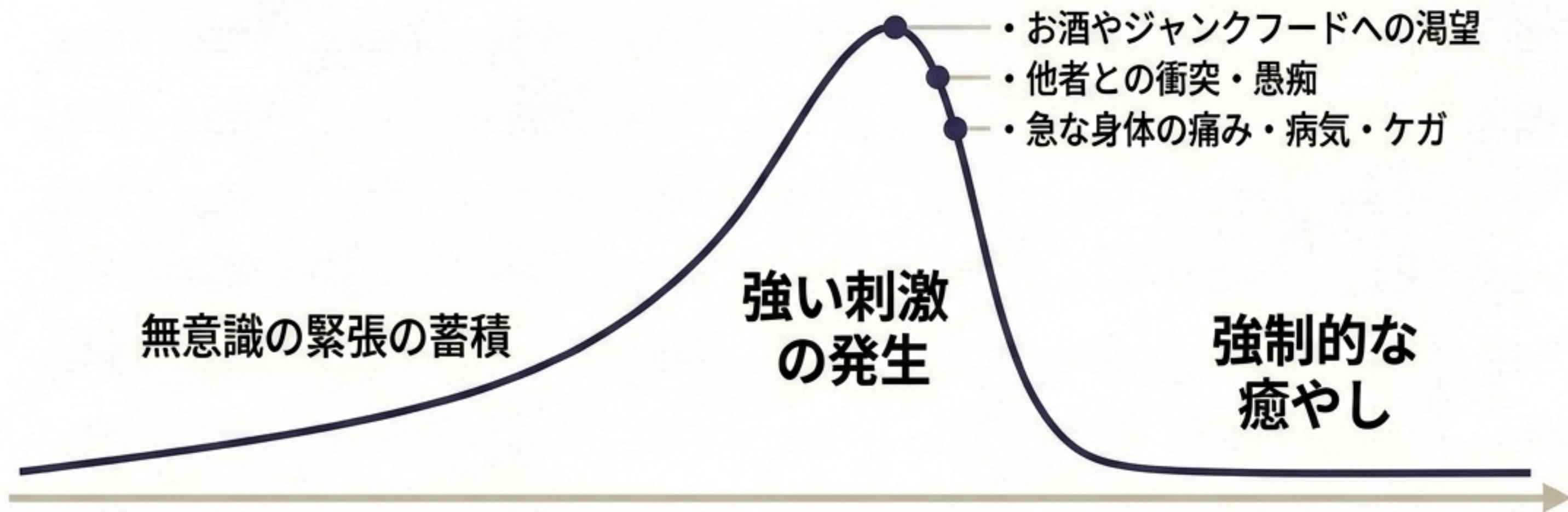
自然界のすべては、互いに支え合うペア（表と裏）でできています。



息を限界まで吐き続ければ、身体は勝手に息を吸い込みます。
どちらが良い・悪いではありません。一方に自然の調整作用（バランス）が働き、
もう一方へと「強制的に」引き戻される仕組みなのです。

限界を超えた緊張がもたらす「強制的な緩み」

知らず知らずのうちに過度なプレッシャーを溜め込むと、自然界は「強い刺激」を使ってあなたを強制的に休ませようとします。



目の前の痛みやトラブルは罰ではありません。
極限まで緊張したあなたを癒やすための、
自然界からの荒療治なのです。

緊張の根本原因：「条件縛り」の錯覚

なぜ私たちは、無意識にそこまで緊張を溜め込んでしまうのでしょうか？
それは、自分の存在価値に「条件」をつけているからです。

条件縛りの生き方 (緊張を生む)

思考：「健康でなければ」「仕事ができなければ」「良い人でなければ」
価値がない。

結果：常に自分にプレッシャーをかけ、自己否定を繰り返す。極度のストレスが無意識に蓄積する。

自然の法則の生き方 (緩みをもたらす)

思考：自分の存在価値は、何かができる・できない、持っている・いないとは全く無関係である。

結果：そのままの自分を許容する。
無駄な力みが抜け、心身のバランスが自然と整う。

外側との戦いをやめ、内側の感情に寄り添う

不調やトラブルに対処するだけでなく、その奥にある「悲鳴」に気づくことが
真の自己治癒への第一歩です。

Step 1: 気づく

「強い刺激（痛み、怒り、
トラブル）」が起きたら、
それは自分が強く「癒やし」
を求めているサインだと知る。

Step 2: 錯覚を手放す

相手や環境、あるいは痛む
身体を責めるのをやめる。
それは根本原因ではないと
理解する。

Step 3: 共感する

「そんなに無理をしていた
んだね」「本当は悲しかった
んだね」と、長年無視して
きた自分の本音を思い
切り感じきる。

心身の調和を取り戻す場所

身体の緊張はベッドの上で。心の緊張は、あなた自身の気づきによって。

形而下のケア

接骨院くらでの丁寧な施術を通じて、
凝り固まった身体の「緊張」を
物理的に解放します。

形而上のケア

今日知った「自然の法則」を通じて、
自分を縛り付けていた
心の「条件」を解放します。

痛みは、あなたに治ってほしいという身体からのメッセージです。
一緒に、本当の「緩み」を取り戻しましょう。